

南アルプス国立公園における南アルプス生態系維持回復事業の策定の概要

1 経緯

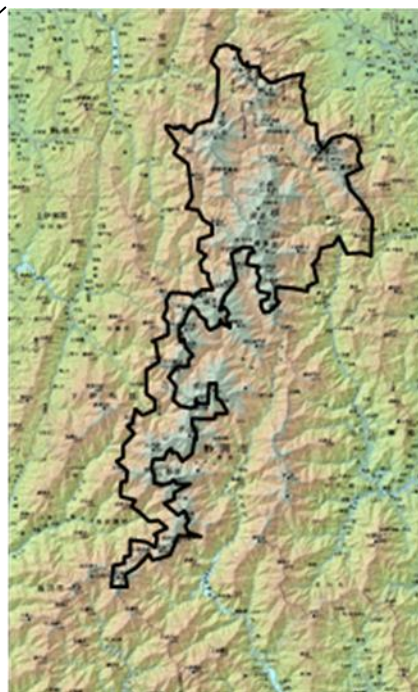
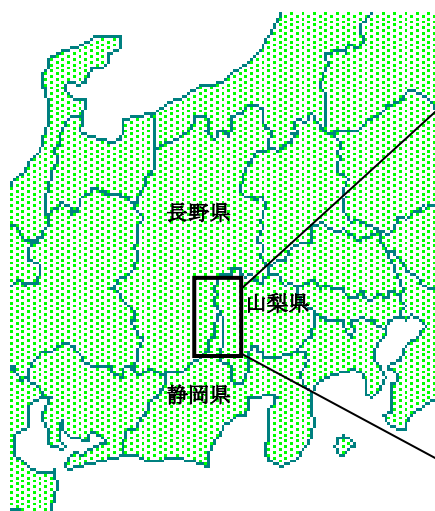
南アルプス国立公園は北岳、赤石岳を代表とする3,000メートル級の山々が連なり、豊かな自然と美しい自然景観を有する日本を代表する山岳地域である。その主要部分を占める高山帯及び亜高山帯には、厳しい自然環境に適応した動植物が生息及び生育しており、それらには氷河期の遺存種、固有種、希少種、分布の南限種等も多く、生物多様性保全の観点からも重要な地域である。

しかし、1990年代末から、ニホンジカの生息域の拡大、個体数の増加により高山帯の高山多年生草本群落、「お花畑」と呼ばれる亜高山帯の高茎草本群落等の植生においてニホンジカの採食圧による影響が報告されるようになり、その後の10年間で急速にその影響が拡大し、高山帯及び亜高山帯の植生に対する採食圧の影響が深刻化した。

このため、平成23年9月30日に平成28年3月31日までの計画期間とする南アルプス生態系維持回復事業計画を農林水産省と環境省で策定し、関係行政機関等と協力・連携して、捕獲や防鹿柵・植生保護復元施設の設置、モニタリング調査等の対策を緊急的に実施してきた。しかし、ニホンジカによる影響が収束してきたとは未だ言い難い状況にあり、引き続き対策の実施が必要である。また、今後は影響の拡大防止、攪乱された植生の回復、ニホンジカ個体群管理体制の強化充実といった総合的な対策を強化することが重要となっている。

以上のことから、ニホンジカの影響が及ぶ以前の植生である1980年代の植生を目安として、南アルプス国立公園の生態系の維持又は回復を図るものである。

南アルプス国立公園位置図



2 生態系維持回復事業計画の策定

- ① 生態系維持回復事業計画の名称
南アルプス国立公園 南アルプス生態系維持回復事業計画
- ② 生態系維持回復事業計画の策定者
農林水産省、環境省
- ③ 生態系維持回復事業計画の計画期間
平成 28 年 4 月 1 日から事業の目標を達成するまで
- ④ 生態系維持回復事業の目標
省略
- ⑤ 生態系維持回復事業を行う区域
南アルプス国立公園全域
- ⑥ 生態系維持回復事業の内容
省略
- ⑦ 生態系維持回復事業が適正かつ効果的に実施されるために必要な事項
省略